



委員会視察を市政に活かす

～市民生活に深く関わる課題について先進事例の調査研究を行いました～

福祉文教委員会

視察日 令和8年1月16日(金)

視察地 東京都八王子市・東京都調布市

視察目的 「学びの多様化を実現する環境づくりについて」の調査研究を進めるため、八王子市、調布市の先進的事例を視察する。

調査概要 八王子市：八王子市立高尾山学園を視察した。決して強制せず子どもの主体性や自己肯定感を育む取り組みにより、子供にとって学校を「安全で楽しく」「頼れる大人や友人とながれる」場所とする運営方針は素晴らしいもので非常に参考になった。教育、福祉、医療との連携の必要性も感じた。心身の不調や発達特性など、教育現場のみでは対応が難しい課題についても専門的支援につなぐ体制が構築されていた。本市でも、教育・福祉にとどまらず、医療を含めた切れ目のない支援体制の構築が重要であると考える。

調布市：調布市立第七中学校はしうち教室を視察した。全国初の分教室型として開校した。小集団の学級編成、独自の教科の設定、柔軟な時間設定など、生徒の自己肯定感を育むことを目標に、特色ある教育活動を行っていることを確認した。独自の教科「表現科」は、様々な体験活動や実践を通じて感じたことや考えたことを、生徒が自分の得意とする手法で表現をする活動で、他者とのコミュニケーション力の向上を図る上で、有効であると思った。



八王子市
八王子市立
高尾山学園

調布市
調布市立
第七中学校
はしうち教室

議会運営委員会

視察日 令和8年1月19日(月)～20日(火)

視察地 静岡県菊川市・滋賀県彦根市

視察目的 「議会運営の効率化について」の調査研究を進めるため、子ども議会の先進的事例として、菊川市、彦根市の先進的事例を視察する。

調査概要 菊川市：菊川市こども議会は、市議会発案により、「市民に開かれた議会」、「市民参加を推進する議会の実現を推進する議会」の実現にあたり、市内の小学生を対象に実施している。夏休み期間中に、オリエンテーション、資料収集、調査、提言書作成、提言書発表の5回を行っている。議会主導による参加者の公募、提言づくり、当日運営までをほぼ全議員参加で行っているが、準備からこども議員への関わりまで、議員自らが取り組むことが大切との説明だった。

彦根市：彦根市こども議会は、「小学生が政治への関心を深めたり、社会参画への意欲を担うこと」などを目的に実施している。市内の小学生を対象に、夏休み期間中に、事前研修会、リハーサル、質問書発表の3回を行っている。当初は市議会のみの主催であったが、現在は、議会が運営全般、事前研修会、リハーサル、本番の発表における進行補助、市が質問に対する答弁作成、子ども議会本番における答弁対応、教育委員会が小学校との連絡・調整、子ども議員の質問書作成補助をし、三者による共催で、それぞれが役割分担をして実施している。役割分担をすることで、それぞれの負担が軽減され、スムーズな運営ができ、また、子ども視点の質問からは、新たな気づきを得られるとの説明だった。



菊川市



彦根市